

<p>④想定する事業の手法</p> <p>※該当する番号に○（複数可）</p> <p>※PFI事業方式（BTO、RO等）が具体的に決まっている場合、「1.PFI事業」の○内に記載ください。</p>	<p>1.PFI事業（ ）方式 2.DBO方式</p> <p>3.包括的民間委託 4.指定管理者制度</p> <p>5.コンセッション 6.Park-PFI</p> <p>7.土地の賃貸借、8.建物の賃貸借</p> <p>9.その他（事業手法未定）</p>
<p>⑤事業内容</p> <p>※事業の内容を簡潔にご記入下さい</p>	<p>○多機能拠点は、町全体として賑わい・交流の最大化と地域防災の強化、住民の健康増進への寄与・貢献を目指すため、既存施設やプロジェクトとの有機的な連携、役割分担により“健康機能×観光・交流機能×防災機能”を備えた施設にしたいと考えています。</p> <p>○また、多機能拠点に隣接するJヴィレッジ※¹（健康・スポーツ・医療・福祉機能）や道の駅ならば※²（観光・交流・癒し機能）、南側多機能拠点※³（防災・交流機能）を包含した一体的な拠点形成による機能連携を図り、拠点の中心施設として各施設の連携・相乗効果を促進します。</p> <p>※1：日本最大級のサッカーナショナルトレーニングセンターであり、天然芝ピッチ、屋内練習場、ホテル、レストラン、コンベンションホール等の施設で構成されています。</p> <p>※2：道の駅機能以外に、温泉やフードコート、産直、コワーキングスペース等の施設で構成されています。</p> <p>※3：事業対象地域の南側に現在整備中であり、駐車場、防災倉庫、多目的広場（平時はイベント広場、有事は駐車場等）、交流広場、バスケットボールコート、キックターゲット等の施設で構成されています。</p>
<p>⑥現状及び課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 車で仙台市から2時間、いわき市から1時間の距離にあり、町外からの多くの人を集めるためには企業のノウハウが必要と考えています。 • 近隣自治体を含め、震災により移転した住民がおり、人口減少、高齢化が進んでいます。一方、福島県イノベーションコースト構想による研究機関等の整備や、自治体の移住施策により、町外からの移住者は増えているので、町民や周辺住民が日々使える施設を整備したいと考えています。 • 町内で生活する上で必要な生活利便施設（スーパー、飲食店）は整備されていますが、娯楽・憩いの場が十分でないため、町民が望む施設を誘致したいと考えています。 • Jヴィレッジは年間50万人が訪れる施設ですが、人の流れが周辺施設に波及していないため、町内での滞在時間を延ばし、賑わいを生む中継地点としての役割を期待しています。 • 国道6号は浜通りの主要幹線道路であり、交通量が多いので立ち寄り客を引き込める施設にしたいと考えています。

⑦前提条件	<ul style="list-style-type: none"> ・民間主導での施設整備を進めたいと考えていますので、設計から運営まで関わっていただきたい。 ・基本的には、民間事業者の独立採算による事業実施を想定しています。 ・民間事業者と対話しながら、必要に応じて、官民連携事業の導入や町の一部費用負担等の検討を進めていくことも想定しています。
⑧事業スケジュール（予定）	<p>例）令和6年度 サウンディング 令和7年度企業募集、選定 令和8年度以降 設計・工事 工事完了後共用開始</p>
（2）対象地	
①所在地（交通情報含む）	<p>福島県双葉郡柵葉町山田岡小堤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道6号沿道 ・JR東日本常磐線木戸駅 約1.2 km ・常磐自動車道柵葉スマートIC 約4.8 km ・常磐自動車道広野IC 約3.0 km
②敷地面積	3.8ha
③土地利用上の制約	<p>広野柵葉都市計画区域（区域区分なし） 地域森林計画対象民有林</p>
④所有者	柵葉町
⑤周辺施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・国道6号を挟んで「道の駅ならは」がある。 ・国道6号との間に大堤溜池がある。 ・南側は町道をはさんで防災交流エリアが整備中である。 ・東側はJヴィレッジが隣接している。 <div data-bbox="603 1301 1270 1704" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ならはスマートI.C.、広野I.C.から10分ほど ・海（岩沢海水浴場）まで5分ほど
⑥対象地周辺の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地に近く（車で5分）、緑豊かな丘陵地に位置する。 ・周辺に住宅は無い。 ・大堤溜池を挟んで国道6号に面している。 ・対象地は、年間50万の来訪者を誇るJヴィレッジの隣接地。 ・対象地の南側は、2025年度以降に施設整備が行われる予定の南側多機能拠点が立地している。

⑦その他

(上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)

■波倉地区新産業団地・再エネパーク（檜葉町）

廃炉となる第2原子力発電所に隣接する波倉地区に「復興のシンボル」として今までにない新しい産業団地を整備する。

日本最大級の系統用蓄電池発電事業エリアに加え、多種多様な再生可能エネルギー事業を誘致するオープンイノベーションエリア設け、「エネルギーの未来」・「脱炭素社会構築」に向けた学習や実験ができる機能を付加して、事業者のみならず、多くの研究者、施設見学者を呼び込む未来型の新産業団地＝「再エネパーク」（仮称）の実現を目指す。



■ 添付資料

- 添付資料 1_計画概要書
- 添付資料 2_檜葉町の基本的条件
- 添付資料 3_現況平面図・断面図